

| | | | | | | | |
|---------|---|------|----|----|---|---------------------|--------------------------|
| 授業科目 | 病因と病態 I | | | | 科目区分 | 選択必修科目 | |
| 担当教員 | (世話人) 相島 慎一 教授 | | | | 単位数 | 1単位 | |
| 授業概要 | <p>主要な疾患の病因と病態を理解するために、循環障害、炎症、免疫、感染症の病理発生、転帰を学ぶ。 (To understand the etiology and pathophysiology in major diseases, you learn about the general pathology and fates of circulatory disturbance, inflammation, immunologic disease, and infectious disease.)</p> | | | | | | |
| 全体の教育目標 | 生体の主要な疾患の病因と病態を正しく把握・理解するために必要な基本的な知識を身に着ける。 | | | | | | |
| 個別の学習目標 | 病理学的専門用語を理解し、それを用いて疾患の成り立ちと病態を説明できる。 | | | | | | |
| 授業計画 | 回 | 月日 | 曜日 | 時限 | 授業内容 | 担当教員 | 講義室 |
| | 1 | 4/13 | 月 | 4 | 循環障害 ①組織の恒常性維持における循環機序の役割を理解する。 ②循環破綻による病変を理解する。 | 中川 和憲 講師 病理病態学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| | 2 | 4/20 | 月 | 4 | 血栓症 ①血栓の生理的・病理学的意義を理解する。 ②血栓形成機序とその素因を理解し、病態への転帰・影響を理解する。 | 中川 和憲 講師 病理病態学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| | 3 | 4/27 | 月 | 4 | 炎症 ①炎症の定義、炎症細胞の種類とメディエーターを理解する。 ②炎症の経過とそれに影響する要因を理解する。 | 中川 和憲 講師 病理病態学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| | 4 | 5/11 | 月 | 4 | 動脈硬化症 ①動脈硬化の成り立ちを理解する。 ②動脈硬化関連疾患を列記し、それらの病理学的特徴を説明できる。 | 中川 和憲 講師 病理病態学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| | 5 | 5/18 | 月 | 4 | 血管新生 ①正常・病的血管の構造を理解する。 ②血管新生を制御する各種液性因子(血管新生因子)の機能を理解する。 | 鬼丸 満穂 助教 病理病態学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| | 6 | 5/25 | 月 | 4 | 感染症 ①病原微生物の種類や感染経路の違いを理解する。 ②感染症と起炎菌の関係を理解し、抗菌薬の作用を理解する。 | 鬼丸 満穂 助教 病理病態学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| | 7 | 6/1 | 月 | 4 | 腫瘍免疫 ①免疫学の基礎を理解する。 ②疾患、特に移植・腫瘍免疫に関する免疫応答を理解する。 | 相島 慎一 教授 構造病態病理学 | 総合研究棟 2階 205 セミナー室 |
| テキスト | なし。ただし回により補助的に資料プリントを配布する。 | | | | | | |
| 参考書 | ロビンス基礎病理学 丸善出版 ルービン カラー基本病理学 西村書店 | | | | | | |
| 成績評価の方法 | 授業の受講態様(質疑応答など)をふまえ総合的に判断する。私語など不適切な受講状況はマイナス評価で採点する。3回以上の欠席は、成績評価の対象外(履修資格喪失)とする。 | | | | | | |
| その他 | | | | | | | |